

# 最終回 市民ワークショップ 「私たちが考える、公共施設再配置(案)」 をテーマにグループ討論を行いました

11月18日(土)朝陽支所で、第3回の「朝陽地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論の後、まとめとなる意見発表を行いました。住民自治協議会の千野会長のあいさつ、樋口副市長から御礼のあいさつと講評の後、参加者全員で記念撮影を行い、朝陽地区のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



各グループから、朝陽支所・公民館を中心に公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。(詳細は次ページをご覧ください)

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、地元の検討委員会をはじめとする地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

**市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。**



今回のワークショップは、朝陽地区住民自治協議会のご協力をいただき、公募及び、朝陽地区内の各区からご参加いただいたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。

【お問い合わせ先】  
公共施設マネジメント推進課  
電話:224-7592  
朝陽支所 電話:243-7293

# 朝陽地区の主な公共施設



支所  
(公民館分室)



エムウェーブ



公民館



小学校



児童センター



体育館

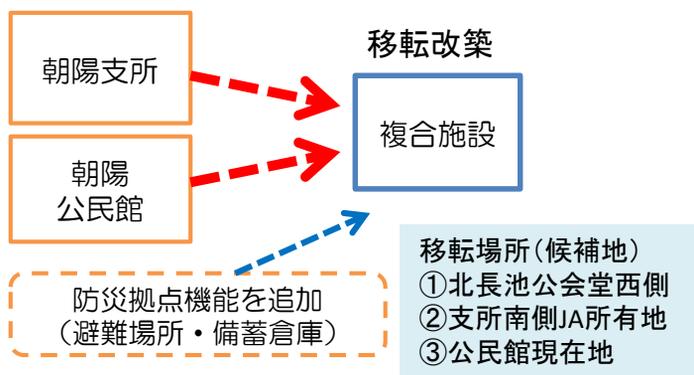
「移転場所」につきましては、土地所有者など関係の皆さまに御了承なく、出された意見を掲載しております。関係の皆さまには、御容赦いただきますようお願いいたします。

## 各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

以下に、建物を移す案を で、機能を移す案を で、表しています

### Aグループ

#### コンセプト【朝陽地区の一体感を醸成できる コンパクトな公共施設再配置】



#### 《効果》

- ・複合化により機能を集約し、適正規模を保ち、コスト削減を図る。新しい設備の施設を建設
- ・集約化による支所・公民館の連携

#### 《課題》

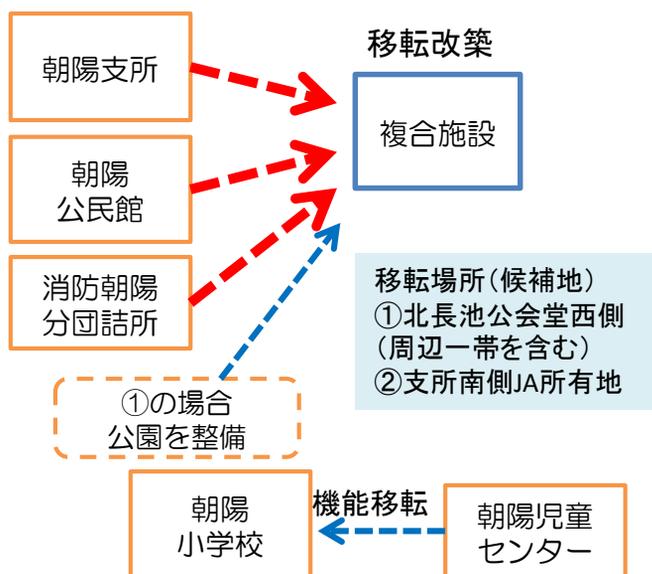
- ・用地取得（地権者の理解、十分な面積の確保）
- ・駐車場の確保（用地が狭ければ立体化、施設同士をデッキで結ぶなど）
- ・水害対策

#### 《自分たちにできること》

- ・それぞれの区で、住民の意見を集約しながら施設建設について検討していく（道路整備も考える。将来的には学校の複合化や公民連携も考える）

### Bグループ

#### コンセプト【不便から便利に向けての朝陽 ～施設の複合化と再配置～】



#### 《効果》

- ・①の場合：一か所で施設サービスが受けられる、公園整備により防災機能を確保する
- ・②の場合：小学校に近く朝陽地区の中心地、JAと協力できる、公民連携手法も活用できるのでは

#### 《課題》

- ・①の場合：調整区域の用地取得
- ・②の場合：民間所有地のため協力が得られるか
- ・共通：避難場所としての機能を持たせたい

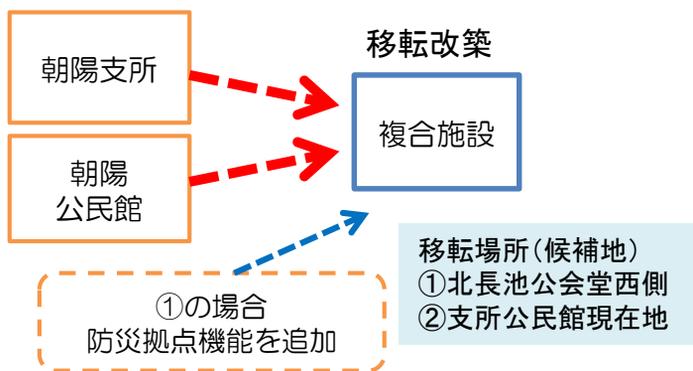
#### 《自分たちにできること》

- ・施設建設のための募金
- ・説明会の開催、署名活動、市への要望
- ・公園が整備されれば愛護会等のボランティア

## Cグループ

### コンセプト 【安全と広い土地】

#### バリアフリー化した建物と防災拠点



移転場所①の場合、現在の支所及び公民館の敷地は売却して建設費に充てる

#### 《効果》

- ・バリアフリー化、安全性の向上
- ・施設の機能向上（駐車場の確保）
- ・防災拠点化（備蓄、避難所）
- ・ランニングコストの削減

#### 《課題》

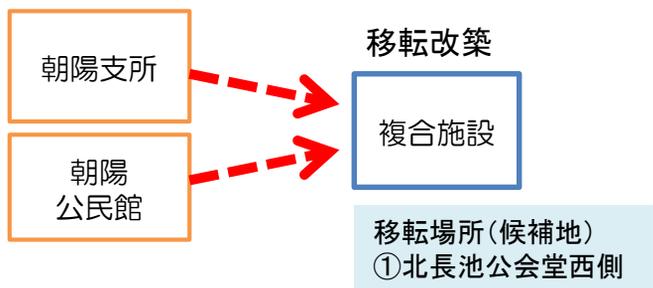
- ・①の場合：用地の確保
- ・②の場合：建て替え工事中の機能の維持  
高層化等によるコストが高くなる  
支所と公民館の連携を図る（連絡デッキ等）  
駐車場確保（用水をなんとかできないか）

#### 《自分たちにできること》

- ・行政への要望

## Dグループ

### コンセプト 【明るい朝陽 ～夢を追及～】



現在の支所は北尾張部と北長池の地域公民館として共同利用（市から賃借、バリアフリー化は必要）

現在の公民館は高齢者施設として民間で利用または社会体育館として利用

#### 《効果》

- ・様々な課題を解決することができる  
（老朽化、施設が狭い、支所と公民館の連携がしづらい、バリアフリー化が必要、駐車場が離れている、駐車場が不足している等）

#### 《課題》

- ・用地の確保
- ・結局はお金の問題だと考える  
（お金があれば、なんでもできる）

#### 《自分たちにできること》

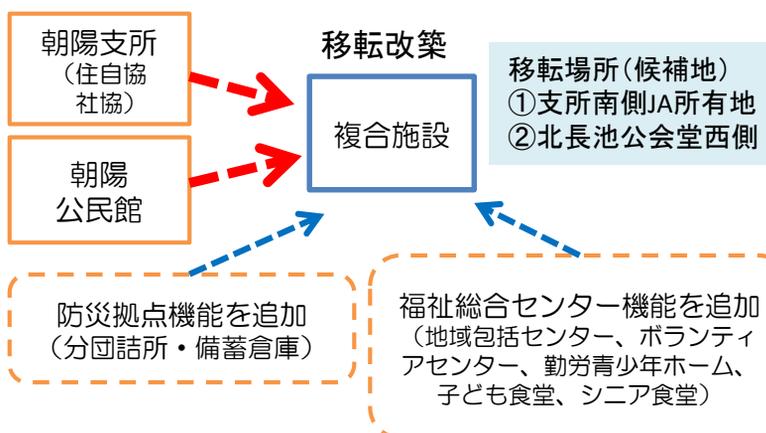
- ・地権者を説得する



## Eグループ

### コンセプト 【世代間交流による“にぎわい”

#### +福祉・防災センター】



#### 《効果》

- ・複合化によるワンストップサービス
- ・高い費用対効果を生み出す
- ・にぎわいづくり、安心・安全な公共施設

#### 《課題》

- ・用地取得
- ・PPP/PFIなどの公民連携手法の導入
- ・公民館を多目的ホールにすることで講演会、スポーツ大会、飲食もできるようにしたい

#### 《自分たちにできること》

- ・施設の運営に参画する
- ・地域が団結していく

# 参加者アンケートの主な意見をご紹介します



高野市議会議員



住自協 千野会長



樋口副市長

## 【Aグループ】

- ◆公共施設整備は行政が行うものと考えていたが、自分が参加し考えることができ良かった
- ◆課題克服、将来的な複合化など意見を出し合うなかで個人では気づかないことが分ってきた
- ◆理想的な方向で話が進んだが、現実をもっと見つめるべき。方法論はかなりあるはず
- ◆ワークショップをした後どうなるか、どうなったのか報告してもらいたい
- ◆用地取得にあたりワークショップの意見をしっかり反映して、粘り強く対応してほしい

## 【Bグループ】

- ◆他の人の考え方を知ることができて有意義だった。一番大切なのは今後の地域のつながり、コミュニケーションが深まることだと思うので、自分にできることを少しずつやっていきたい
- ◆いろいろな課題があることを認識した
- ◆3回とも楽しかった。ワークショップで出された意見が是非実現できればと思う

## 【Cグループ】

- ◆地域の公共施設の状況が分かった。問題点の大きさも把握できた
- ◆公共施設は自ら考え、創るものだという思いが高まった
- ◆地域のことで知らないことが多く、少し関心を持つことができたと思う
- ◆市は、ぜひ予算の確保をしてもらいたい
- ◆グループ内の意見が大いに参考になった。集約化、複合化を真剣に考えることができた

## 【Dグループ】

- ◆以前は支所や公民館がきれいになって、バリアフリーで高齢者も使いやすくなればと思っていただけだが、具体的に考えることができて良かった
- ◆いろいろな考え方があると感じた。また、考える事はある程度、結局同じだとも感じた
- ◆ワークショップが、どのようにまとまっていくのか疑問だったが、グループの意見がうまく集約できて良かった。ファシリテーターがしっかり進行してくれて良かった

## 【Eグループ】

- ◆ハコモノの多い長野市で、集約化と施設の活用はとても大切だと思う
- ◆福祉と防災の拠点を考えた。ワンストップサービスにすべき
- ◆アイデアが整理できた
- ◆公共施設をただ単に減らすだけではなく、市として、必要なものは残すことを知り安心した。人口が減るから昔に戻すということでは、時代とともに向上してきた生活水準や社会サービスを昔の水準に戻すことになるので、してはならないと思う

【副市長のあいさつから】熱のこもった議論とプレゼンテーションをいただき感謝申し上げます。ワークショップの目的は2つあり、地区の公共施設に関心を持って考えていただく。もう一つは、各地区のワークショップでいただく意見を参考に、長野市全体の公共施設再構築の工程表を作りたい。少し長いスパンの工程表となるが、その中に朝陽地区の皆さんの意見を反映していきたい。公共施設の見直しはネガティブな話だけではない。新たな価値を生み出す見直しを進め、地域が生き生きとした街として存続させていくという視点が大事になる。

